

## 平成30年度「地域別総合防災研修」実施した改善等

平成30年度「地域別総合防災研修」を実施するにあたり、平成30年度第1回検討会で示した改善案をもとに改善を図った。実施した改善事項と、それに対する実施結果をアンケート等の集計結果から抽出して整理した。

区分	項目	No.	課題	H30 第1回検討会 改善案	実施事項	実施結果
カリキュラム	アンケート 事前	1	期待されている内容とカリキュラムの内容が合っていない。 ○災害対策本部の運営(体制、運営方法等) ○防災対策や災害対応の事例・経験談・教訓	① 募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。	改善案のとおりパンフレットに記載 【パンフレット参照】	受講者最終日アンケートの自由回答記述において、H29(11件)からH30(1件)に変化している。 【資料2-2 ④-4参照】
		2	「スペシャリスト養成研修」で連想される研修レベルと実際の講義内容のレベルが合っていない。 ○基本的な内容が多い。 ○災害時の対応を突き詰めた研修にしてほしい。			
	最終日アンケート	3	講義に追加してほしい内容がある。 ○法体系 ○ハード整備 ○避難所の指定 ○避難行動要支援者名簿 ○自主防災組織 ○実際に現場で活動した方の意見 ○現場研修(地方の市町村の防災担当部署の現状や対策等) ○OJT研修の説明	② 企画検討会の「H31年度以降の「地域研修(仮称)」研修のあり方検討」で見直しを図る。	—	—
		4	講義内容は概要が多く、もの足りない。 ○もっと掘り下げた内容を勉強したい。 ○実災害からの教訓等について訊きたい。 ○「応用編」などがあるとよい。	③ 募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。	改善案のとおりパンフレットに記載 【パンフレット参照】	①と同様

区分	項目	No.	課題		H30 第1回検討会 改善案	実施事項	実施結果
講義内容	単元別アンケート	5	講座の内容の満足度が低い単元がある。	④	講師に対して、講義の進め方や改善してほしい事項、昨年度のアンケート結果をまとめた資料を提供し、改善を依頼する。	講師依頼の際に、単元ごとの前年度アンケート及び確認テストの結果をまとめた資料を送付	単元別アンケートの「講座内容の満足度」において、H29 では一部に70点未満があったが、H30 においてはすべて70点以上となった。また、地域全体では、H29(81.5点)から H30(82.3点)に変化している。 【資料 2-2 ③-1】 ⇒年度途中でも改善可能な気づきをフィードバックする方策を検討
研修期間	最終日アンケート	6	習得する内容が多く、研修期間・時間が足りない。 ○「3日間程度は必要」「もどって復習する」といった意見も多い。	⑤	企画検討会の「H31 年度以降の「地域研修(仮称)」研修のあり方検討」で見直しを図る。	—	—
人的ネットワーク	最終日アンケート	7	半分弱の受講者が、人的ネットワークを作れなかったと感じている。	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>確定通知の案内文で名刺の持参を促す。</li> <li>1日目「演習」と2日目「全体討論」のグループのメンバーを変更。</li> <li>1日目に名刺交換会を開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善案のとおり実施したが、名刺交換会は未実施。</li> <li>アナウンスで名刺交換を促した。</li> <li>改善案の他、座学の配席を1日目と2日目に入れ替えるように変更</li> </ul>	受講者最終日アンケートにて、「人的ネットワークが作れたと思う」と回答した人が、H29(57.8%)から H30(69.9%)に改善が見られた。 【資料 2-2 ④-3 参照】
		8	参加者同士の意見交換・交流の時間が足りない。 ○演習を増やして意見交換の場を設ける ○1日目の終了後の懇親会・交流会 ○情報交換の場				
運営	最終日アンケート	9	会場によって空調が使えないため、会場内の温度調節ができない場合がある。	⑦	会場の空調を事前に確認し、使えない場合は服装等で体温調節して頂くよう事前に告知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場の設備に合わせ適宜空調を調整</li> <li>受講のしおりに服装等による体温調整に関することを記載</li> </ul>	受講者最終日アンケートの自由回答記述において、「会場の温度が快適ではなかった」という意見は H29(5件)から H30(8件)になっている。 【資料 2-2 ④-4 参照】 ⇒会場の空調性能の限界が影響受講時の状況に応じ臨機に対応
		10	遠方から来る受講者にも配慮し、開始時間・終了時間調整してほしい。 ○1日目の閉会時間を少し遅く、2日目の終了時間は早めのほうがよい ○開始時間が早めのほうがよい(8:30～又は9:00～) ○終了時間が17:30は少し遅い	⑧	企画検討会の「H31 年度以降の「地域研修(仮称)」研修のあり方検討」で見直しを図る。	—	—

区分	項目	No.	課題		H30 第1回検討会 改善案	実施事項	実施結果
修了者	修了者数等のまとめ	11	応募者数に比べて <u>修了者数が減ってしま</u> う。	⑨	開催県の担当者に、受講者には可能な限り全単元を受講して頂くようお願いする。	内閣府から個別に依頼	応募者に対する修了者の割合は、H29(77.5%)からH30(75.8%)となった。 【資料 2-2 ①参照】 ⇒引き続き、対応方を検討
テスト	確認テスト	12	確認テストの設問のうち、 <u>正解率が70%未満のものがある。</u>	⑩	・講義の内容に合った問題文になるよう見直す。 ・問題文の内容を講義で教えて頂くよう講師に依頼する。	・講師依頼の際に、単元ごとの前年度アンケート及び確認テストの結果をまとめた資料を送付 ・必要に応じて問題文を修正いただき確認テストに反映	H30 から新たに作成して変更した問題および H29 で 70%以上の問題で 70%未満が増加 【資料 2-2 ⑤-1 参照】 ⇒引き続き見直しが必要
委員からの個別指摘事項		13	事前アンケートについて、「 <u>期待することや習得したい内容</u> 」を訊いても、それを生かしていないためアンケートから削除するか見直しが必要ではないか。	⑪	期待することを訊く設問については削除する。	改善案のとおりアンケートを変更	⇒研修への期待とまらない範囲で、潜在的なニーズを把握する方を検討
		14	単元「地域の災害特性」について、 <u>内容的な偏りがある。(今回の場合、静岡での開催で、風水害のみ)</u> というのは問題。	⑫	管区气象台等に出講依頼する際、 <u>地震・津波災害、風水害、火山災害</u> について、 <u>地域に応じた講義</u> をして頂くよう依頼する。	改善案のとおり講師に依頼	—
		15	単元「被災者支援の枠組み」について、 <u>内容が「災害救助法」のみである。</u> せめて、被災者生活再建支援法と、罹災証明書の交付については取り上げた方がよいのではないか。	⑬	「被災者生活再建支援法」と「罹災証明書の交付」について講義で取り上げるよう、講師に依頼する。	「被災者支援の枠組み」の講義で、事務局が「生活再建支援」に関する講義を行った。	—

区分	項目	No.	課題	H30 第1回検討会 改善案	実施事項	実施結果
委員からの個別指摘事項		16	「有明の丘研修」の「防災基礎」は、標準テキストの整備過程で研修の構成や内容のブラッシュアップを進めたが、「地域別総合防災研修」では進められていない。	⑭ 企画検討会の「H31年度以降の「地域研修(仮称)」研修のあり方検討」で見直しを図る。	—	—
		17	「地域別総合防災研修」の「防災行政(全体概要)」は防災についてどういうことを学ぶのが重要であり、総論の標準テキストの内容を話して頂きたい。	⑮ 講師には60分のうち、目安として30分以上は防災行政の全体概要を説明して頂くよう調整。	改善案のとおり講師に依頼	単元別アンケートの「講座内容の満足度」の防災行政(全体概要)において、H29(75.4点)からH30(80.0点)に改善が見られる。 【資料2-2 ③-1参照】
		18	「地域別総合防災研修」の受講者は、過半数が「有明の丘研修」の「防災基礎」コースと同じレベルの人(防災の初任者や防災の経験の浅い職員)で、且つベテランの人も来る。ベテランの人が不満を持たないように研修の冒頭で「本研修はどちらかというと初歩の人向けである」ことを説明した方がよい。	⑯ 募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。	改善案のとおりパンフレットに記載 【パンフレット参照】	①と同様
				⑰ 研修1日目のオリエンテーションにおいてカリキュラムの内容、学習目標について説明。	改善案のとおりオリエンテーションで説明	—
その他(今回追加)		19	単元別アンケートで質問している、講師および講義内容に対する満足度は、結果がほとんど同じ傾向にある。一本化してもよいのではないか。	⑱ 別々に質問をせずに講義内容の満足度を聞く質問に一本化。	改善案のとおりアンケートを変更	—
		20	最終日アンケートでは、評価結果の判明している質問(例:「研修の実施時期に対する希望」「会場・受講環境」「スタッフの対応」)が含まれている。	⑲ 質問項目を精査し、事務局で評価結果を把握している質問は削除。	改善案のとおりアンケートを変更	—

# 自然災害に備えて 地域別総合防災研修

～基礎的な知識・態度の習得に向けて～



## 平成30年度

### 内閣府(防災)

内閣府(防災)では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である本研修は、各地域の災害発生上の特性を踏まえ、災害対応に必要となる「基礎的な知識や態度」を効果的に習得することを主眼とした初心者向けのコース内容としました。



## 会場－全国8都市で実施

	開催日	会場
青森県 青森市	7月23日(月) 7月24日(火)	青森県庁 西棟 8階 大会議室 〒030-8570 青森県青森市長島1丁目1-1
鳥取県 倉吉市	8月9日(木) 8月10日(金)	鳥取県中部総合事務所 1号館 A棟 2階 講堂 〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町2
佐賀県 佐賀市	9月6日(木) 9月7日(金)	佐賀県庁 新館 11階 大会議室 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1-59
長野県 長野市	11月8日(木) 11月9日(金)	日本赤十字社 長野県支部 2階 大会議室 〒380-0836 長野県長野市南県町1074
秋田県 秋田市	11月15日(木) 11月16日(金)	秋田県庁 第2庁舎 8階 大会議室(演習のみ4階 災害対策本部室) 〒010-8570 秋田県秋田市山王3丁目1-1
滋賀県 大津市	1月10日(木) 1月11日(金)	滋賀県危機管理センター 1階 大会議室 〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1
奈良県 奈良市	1月17日(木) 1月18日(金)	奈良県文化会館 2階 集会室A・B 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2
鹿児島県 鹿児島市	1月21日(月) 1月22日(火)	鹿児島県庁 2階 講堂 〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

# カリキュラム

地域別総合防災研修では、災害対応に必要な「**基礎的な知識や態度**」を習得することを目的に、下記のカリキュラムを実施します。

	1 9:30-10:30	2 10:45-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1日目	<b>防災行政</b> <b>(全体概要、災害法体系、防災計画)</b>		<b>地域の災害特性</b>	<b>災害対応過程と態度を学ぶ</b> <b>〈演習〉</b>	
	防災活動の全体像とその考え方、各活動の概要、それら活動の前提となる法律や計画の基本的な知識を学びます。		地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学びます。	実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを演習形式で学びます。	
2日目	<b>警報避難の枠組み</b>	<b>被災者支援の枠組み</b>	<b>交通確保・ 物資物流・ 広域応援の枠組み</b>	<b>自助・共助の 取り組み促進</b>	<b>全体討論〈WS〉 ・閉講</b>
	避難勧告判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難勧告等に関するガイドライン」(下記URL参照)を中心に学びます。	被災者支援対策の基本となる災害救助法や被災者生活再建支援法、罹災証明書の交付の考え方とその適用基準・運用方法について学びます。	災害時の交通確保と物資物流、広域応援対策の流れと、そのための事前対策について、事例とともに学びます。	住民等による自助・共助の取り組みの促進について、地区防災計画やボランティアなど様々な手法を学びます。	研修全体を通じて学んだことを、地域の防災力向上にどう反映させるかを演習形式で受講者自ら振り返ります。

「避難勧告等に関するガイドライン」

[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h28\\_hinankankoku\\_guideline/index.html](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h28_hinankankoku_guideline/index.html)

※ カリキュラムは変更する場合がございます。  
また、当日講師等の都合により内容を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

11月5日は  
津波防災の日



主催 **内閣府  
(防災)**

企画・運営

Science Craft  
株式会社サイエンスクラフト



阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター

●お問い合わせ 株式会社サイエンスクラフト 研修チーム

〒102-0085 東京都千代田区六番町13-7 中島ビル2階

電話：03-6261-5903 FAX：03-6261-5904 e-mail: kenshu@scraft.co.jp

平成30年8月27日版